

エイトが著効した急性腰痛症の一例



アレックス脊椎クリニック
院長 吉原 潔 先生



【患者背景】

52歳女性

1カ月前に腰痛発症、その後痛みは軽減していたが、1週間前に重いものを持ち上げた際に腰痛が再燃した。起床時に痛みが強く、座っている時間が長くなると臀部まで痛くなり、すぐに立ち上がることができない。以前に比べて痛みが強いので来院した。

坐骨神経痛などの下肢症状はなく、両側の脊柱起立筋に圧痛を認めた。腰痛は左の方が右よりも若干強く感じる。腰椎後屈よりも前屈時に疼痛増悪し、臀部まで痛むという。既往歴に特記すべきことなし。鎮痛薬の内服は希望されず、湿布剤のみ処方し、エイトの使用を開始した。（腰痛VAS値：5.2）

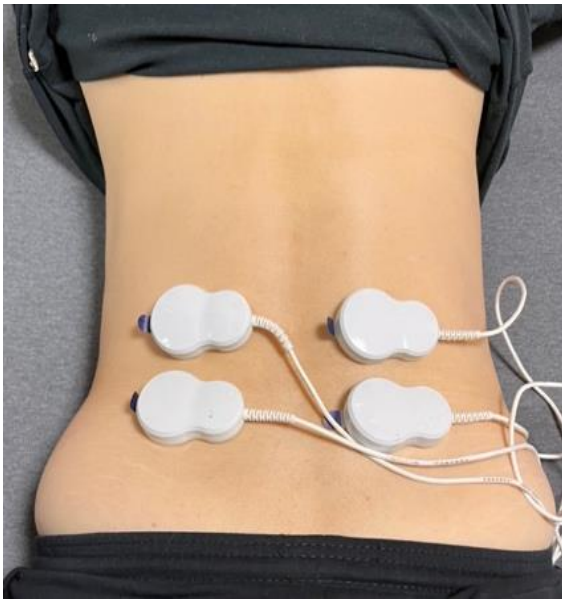
【エイトの使用を開始して】

1週間後の診察時に腰痛は若干軽減したが、左側の痛みが改善した分、右側が痛みを感じるようになった（VAS値：3.5）。エイトの使用は、毎日2時間とのことであった。使用の感想としては、治療時にパッドの辺りがわずかに温かく感じるのとことであった。使用開始後2日目にパッドの使用部位にかゆみを感じたが、おそらく湿布が原因のかゆみだと思うと話していた。それも経過観察のみで2-3日で軽快した。

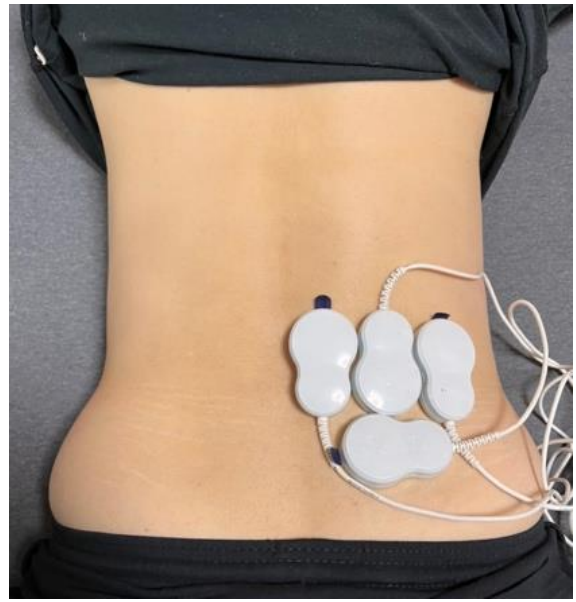
2週間後の診察時には、VAS値：2.9であった。1日2時間の使用を継続していた。効果が認められているのでこのまま継続使用とした。腰痛の左右差は無くなった。パッドの貼り方を変えてみるように指導した。今までは、痛いところ全体に行き渡るよう4個のパッドを均等に離して貼っていた。それを、パッドを集中させて、左右交互に行うように変更した。

3週間後の診察時には、自覚的にはかなり楽になった（VAS値：1.8）。パッドは狭い範囲に集中させて配置し、左右交互に1日2時間の使用を継続した。パッドの配置を変更したことにより、効果が増強したと考えられた。また、1日の治療時間は2時間であるが、時間の経過とともにVAS値が減少していくと話していた。（治療ノートより：30分VAS値：2.1、1時間：2.0、1時間半：1.7、2時間：1.4）

【パッドの固定方法】



従来の分散したパッド配置



狭い範囲に集中させたパッド配置（左右交互使用）

【エイトの使用後】

4週間後の診察時には、VAS値：1 2 とさらに改善した。起床時の痛みは完全に消失し、日常生活では不自由を感じないが、体操時に強く前屈・後屈させると軽度の疼痛を感じた。それもゆっくり行えば問題ないレベルであった。仕事が忙しくなってきたのと、大きな痛みが取れたことから、今回で治療終了となった。現在までのところ再発はなく、元気で生活しているという。

薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスⅡ

（管理医療機器 特定保守管理医療機器）

ait aid
innovation
technology

株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 050-3160-8350

MAIL contact@p-mind.co.jp